

障害者雇用分科会における 2016 年度目標の評価について（案）

2016 年度の目標として障害者雇用分科会において設定した年度目標について、当該分科会が実施した評価の結果は、概ね以下のとおりである。

（障害者雇用分科会において設定された年度目標の動向）

○ ハローワークにおける障害者の就職件数について

〔2016 年度目標〕	前年度（90,191 件）以上
〔2016 年度実績〕	93,229 件

2016 年度の実績は 93,229 件で、前年度から 3,038 件増加となり、目標を達成した。これは、企業における障害者雇用への理解が進んでいること、就職を希望している障害者が増加していること、関係機関との連携をはじめとした各種の障害者支援等が一定の効果을 上げていることなどが要因と考えられる。

○ 障害者の雇用率達成企業割合について

〔2015 年度目標〕	2016 年障害者雇用状況報告において、前年度と比較して 1.5%pt 以上上昇すること
〔2015 年度実績〕	48.8%（前年度実績 47.2%（1.6 ポイント上昇））

〔2016 年度目標〕	2017 年障害者雇用状況報告において、前年度と比較して 1.5%pt 以上上昇すること
〔2016 年度実績〕	50.0%（前年度実績 48.8%（1.2 ポイント上昇））

2015 年度の障害者雇用率達成企業の割合は 48.8%であり、前年度から 1.6 ポイント上昇し、目標を上回った。また、2016 年度の障害者雇用率達成企業の割合は 50.0%であり、前年度から 1.2 ポイントの上昇にとどまり、目標を下回ったものの、平成 10 年以來 19 年ぶりに 50%に達した。

雇用障害者数は 14 年連続で過去最高を更新するなど、民間企業における障害者雇用は着実に進展している。一方で、障害者雇用ゼロ企業が約 3 割あることから、こうした企業も含めた未達成企業に対して、就職面接会や集団指導、職場実習の実施に向けた面接会等を積極的に実施し、改善を図ることとしている。

○ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合について

〔2016 年度目標〕	68%以上
〔2016 年度実績〕	74.6%（前年同期実績 71.6%）

2016 年度に、精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合は 74.6%であり、目標である 68%を大幅に上回った。

精神障害者雇用トータルサポーターに対して目標及びその進捗を意識した業務実施を指示するとともに、経験交流会の開催により、支援ノウハウの共有を図るなど、支援の質の向上を図るための取組が一定の効果を上げてきていることなどが要因と考えられる。